

第6次草津市総合計画

第1期基本計画

【令和3年度～令和6年度】

総括評価

令和6年3月

草 津 市

目次

I. 目的・評価方法について……………	P1
1. 目的	
2. 評価方法	
II. 第1期基本計画の総括評価について……………	P3
1. 第1期基本計画を振り返って……………	P3
(1) まちづくりの基本目標ごとの主な取組実績	
(2) まとめ	
2. リーディング・プロジェクトごとの評価……………	P7
◆未来を担う子ども育成プロジェクト……………	P7
◆地域の支え合い推進プロジェクト……………	P10
◆にぎわい・再生プロジェクト……………	P15
◆暮らしの安全・安心向上プロジェクト……………	P21
III. 総括評価シート(基本方針別)……………	P25
◆「こころ」育むまち	
○人権	1-1 人権の尊重
○男女共同参画	2-1 男女共同参画社会の構築
○学校教育	3-1 子どもの生きる力を育む教育の推進
	3-2 学校の教育力の向上
○生涯学習・スポーツ	4-1 生涯学習の推進
	4-2 スポーツの充実
○歴史・文化	5-1 文化財の保存と活用
	5-2 文化・芸術の振興
◆「笑顔」輝くまち	
○コミュニティ	6-1 市民自治の確立
	6-2 基礎的コミュニティの活性化
	6-3 市民公益活動の促進
	6-4 多文化共生社会の構築
○地域福祉	7-1 「地域力」のあるまちづくり
	7-2 福祉の総合的な相談・支援の充実
○健康	8-1 市民の健康づくり
	8-2 医療保険制度の適正運用
○子ども・子育て・若者	9-1 切れ目のない子育て支援
	9-2 就学前教育・保育の充実
	9-3 安心して子育てができる環境づくり
	9-4 子ども・若者の育成支援

○長寿・介護	10-1 いきいきとした高齢社会の実現
	10-2 安心できる高齢期の生活への支援
○障害福祉	11-1 共に生きる社会の推進
◆「暮らし」支えるまち	
○防災	12-1 自助・共助による防災対策の充実
	12-2 災害に強いまちづくり
	12-3 治水対策の推進
○生活安心・防犯	13-1 暮らしの安心の確保
	13-2 犯罪のないまちづくり
○環境	14-1 良好な環境の保全と創出
	14-2 脱炭素社会への転換
	14-3 資源循環型社会の構築
○交通	15-1 公共交通ネットワークの構築
	15-2 交通安全対策の推進
○道路	16-1 安全・安心な道路の整備
○上下水道	17-1 水の安定供給
	17-2 下水道の安定運営
◆「魅力」あふれるまち	
○農林水産	18-1 農業の振興
	18-2 水産業の振興
○商工観光	19-1 中心市街地の活性化
	19-2 商業の振興
	19-3 工業の振興
	19-4 観光の振興
	19-5 勤労者福祉の向上
○都市形成	20-1 都市と住環境の質・魅力向上
	20-2 まちなかの魅力向上と地域再生の推進
	20-3 良好な景観の保全と創出
○公園・緑地	21-1 ガーデンシティの推進
	21-2 草津川跡地の空間整備
○情報・交流	22-1 まちづくり情報の提供の充実
	22-2 多様な連携・交流の展開
◆「未来」への責任	
○行財政マネジメント	23-1 市民から信頼される市政運営
	23-2 職員力の向上
	23-3 行政事務の効率化と最適な行政サービスの実現

I. 目的・評価方法について

1. 目的

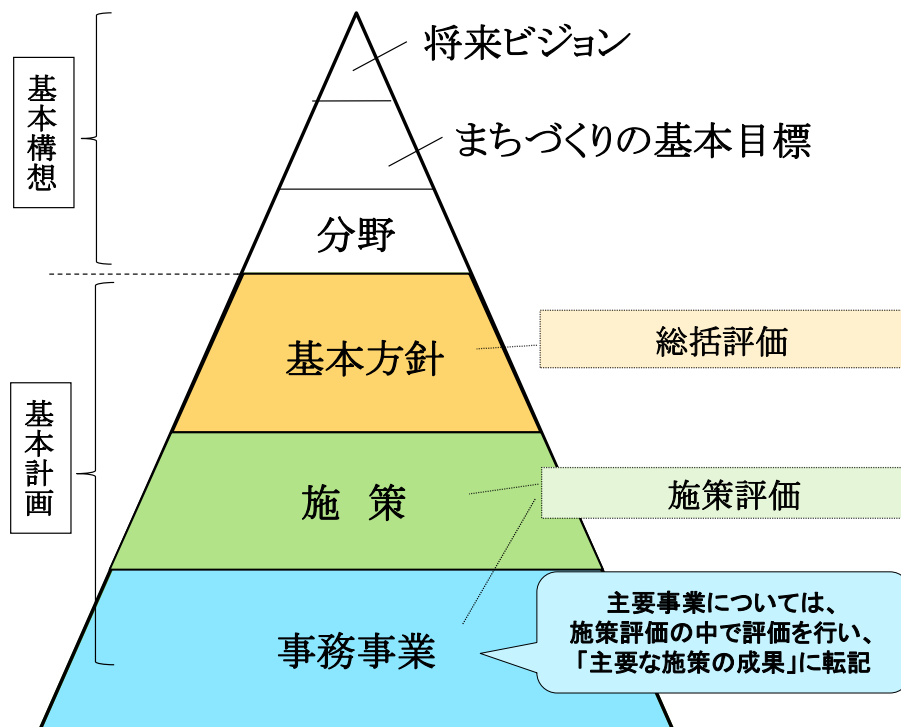
令和3年3月に策定した第6次草津市総合計画第1期基本計画の計画期間が、令和6年度末をもって終了することから、基本構想において掲げる令和14(2032)年度の将来像の実現に向けた本市のまちづくりを引き続き計画的に推進していくことを目的に、令和7年度から令和10年度を計画期間とする第6次草津市総合計画第2期基本計画を令和5年度から令和6年度までの2か年で策定します。

第2期基本計画を策定するにあたり、第1期基本計画の総括評価を行うことで、第1期基本計画期間中の成果や課題、市民意識の推移等を把握し、第2期基本計画の策定につなげます。

なお、現在、第1期基本計画の計画期間中ではありますが、第1期基本計画の総括評価の結果を第2期基本計画の策定に生かすため、令和3年度から令和5年度末時点までの実績と、令和6年度末までの成果見込みをもって、第1期基本計画の総括評価を行います。また、計画期間終了の翌年度である令和7年度に改めて総括評価の更新を行い、第3期基本計画の策定に活用します。

2. 評価方法

第6次草津市総合計画の体系は「まちづくりの基本目標」、「分野」、「基本方針」、「施策」、「事務事業」の5層構造となっており、総合計画の進捗管理・評価については下表のとおり行うこととしています。



施策体系	計画の進捗管理および評価	
	毎年度 庁内組織単位の評価・予算編成の基礎へ	次期基本計画策定年度 次期基本計画の基礎へ
基本方針	●各基本方針の進捗状況の目安として指標の進捗状況を把握し、公表します。 ●各基本方針の重要度・満足度に係る市民意識を把握し、公表します。	●計画期間中の成果や課題、市民意識の推移等を把握し、次期基本計画策定に向けた総括評価を行います。
施策	●施策ごとに事業執行面での分析を行い、達成状況や課題を整理します。 ●すべての施策について、行政の内部管理に基づく評価を行い、公表します。	●計画期間中の評価や環境変化等を踏まえ、施策の構成を再構築します。
事業	●各事業について、施策ごとの達成度評価の中で進捗状況を把握し、次年度予算編成に反映します。	●計画期間中の見直し（スクラップ&ビルド*）を踏まえ、施策体系や財務システムと連動して事業を再構築します。

第1期基本計画における進捗管理として、53項目の基本方針の進捗の目安となる指標（ベンチマーク）を設け、毎年の進捗状況を把握するとともに、115項目の施策ごとの目標達成状況の評価を行ってきました。

第1期基本計画の総括評価としては、これらの進捗管理結果等を踏まえながら、基本方針ごとの令和3年度からの取組状況や成果実績（見込み）、計画期間中における環境変化や今後の課題等を取りまとめました。

Ⅱ. 第1期基本計画の総括評価について

1. 第1期基本計画を振り返って

第6次草津市総合計画では、「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」を将来ビジョンとして掲げ、総合的かつ計画的な市政運営として将来ビジョンの実現に向け、第1期基本計画中に既存の事業を確実に進めると共に、新たな取組を進めてまいりました。また、計画期間中は、新型コロナウイルス感染症の大流行という世界規模での大きな危機に直面し、社会経済活動や日常生活の制限がありましたが、感染症防止対策に取り組むとともに、国の経済対策に加え、市独自の支援事業を展開してまいりました。

(1) まちづくりの基本目標ごとの主な取組実績

■「こころ」育むまち

「人権」「男女共同参画」「学校教育」「生涯学習・スポーツ」「歴史・文化」の5つの分野で下記の事業等の取組を進めました。

主な取組実績
・パートナーシップ宣誓制度の施行(令和6年4月1日施行) ・男女共同参画センターの開設 ・不登校児童生徒に対する支援の拡大 ・スクール ESD くさつ推進事業の開始 ・中学校給食の開始、中学校給食費の無償化(令和6年4月開始) ・全小中学校の体育館等への空調設備の設置(見込み) ・図書館(本館)開館40周年・南草津図書館開館20周年を契機とした「読書のまち」の推進 ・草津市立プールの供用開始(令和6年8月開始) ・史跡草津宿本陣、史跡芦浦観音寺跡の整備 ・「草津のサンヤレ踊り」を含む「近江湖南のサンヤレ踊り」のユネスコ無形文化遺産への登録 など

■「笑顔」輝くまち

「コミュニティ」「地域福祉」「健康」「子ども・子育て・若者」「長寿・介護」「障害福祉」の6つの分野で下記の事業等の取組を進めました。

主な取組実績
・志津まちづくりセンターの新施設の供用開始 ・市民総合交流センター「キラリエ草津」の供用開始 ・重層的支援体制整備事業の開始 ・新型コロナワクチン集団接種の実施 ・特定不妊治療費助成の補助対象の拡充

主な取組実績	
・北部子育て支援拠点施設「ココクル♡ひろば」の開設 ・出産・子育て応援事業の開始 ・笠縫こども園、矢倉こども園の開園 ・民間保育所等への看護師(体調不良児対応型)の配置費補助金の開始 ・6つの子育て施策「草津市子育て6つの楽だ」の開始 「第3子以降保育料無償化事業」、「保育士等奨学金返還支援事業」、 「保育士等就職定着応援支援事業」、「子ども医療費助成事業」、 「紙おむつ無償化事業」、「すくすく応援事業」 ・子ども家庭総合支援拠点の設置 ・子ども・若者総合相談窓口の設置、子ども・若者の居場所の開設 ・草津市在宅医療介護連携センターの相談体制の強化 ・基幹相談支援センターの設置	など

■「暮らし」支えるまち

「防災」「生活安心・防犯」「環境」「交通」「道路」「上下水道」の6つの分野で下記の事業等の取組を進めました。

主な取組実績	
・個別避難計画の作成開始 ・自主防災組織への補助金の拡充 ・新たな火葬施設の整備に向けた草津栗東行政事務組合の設立 ・子ども見守り防犯カメラ(350台)の設置 ・自然環境保全地区における危険木除去費等補助金の開始 ・議会と共同で、「草津市気候非常事態宣言」を宣言 ・草津市スマート・エコハウス普及促進事業補助金の開始 ・草津駅西口自転車駐車場の建替工事の完了(見込み) ・まめバス「草津駅下笠線」の本格運行の開始 ・まめタクの志津学区等での本格運行の開始 ・まめタクの笠縫東・常盤学区、山田学区での運行の開始(令和6年4月1日開始) ・草津市地域公共交通計画の策定 ・大江霊仙寺線(南笠工区その1)の供用開始 ・北山田浄水場耐震補強・浸水対策工事、ロクハ浄水場浸水対策工事の実施	など

■「魅力」あふれるまち

「農林水産」「商工観光」「都市形成」「公園・緑地」「情報・交流」の5つの分野で下記の事業等の取組を進めました。

主な取組実績	
・「道の駅草津リノベーション基本構想」の策定 ・草津用水2期事業(一期地区)の完了(見込み) ・草津市応援チケット事業、草津市事業継続支援金等の実施 ・草津市産業振興条例の施行 ・草津市ビジネスサポートセンターの開設 ・草津市住生活基本計画(草津市空き家等対策計画・草津市マンション管理適正化推進計画を含む)の策定 ・「草津PAと連携した滋賀県南部エリア活性化基本構想」の策定 ・東海道沿道無電柱化事業の完了(見込み) ・ロクハ公園プールの利用継続に向けた今後の方向性にかかる検討の開始 ・草津川跡地(区間6)の整備工事の着手 ・草津川跡地(区間4)のJR琵琶湖線上部の供用開始(見込み) ・市公式X(旧 Twitter)の開設	など

■「未来」への責任

「行財政マネジメント」の分野で下記の事業等の取組を進めました。

主な取組実績	
・第2期草津市財政規律ガイドライン(財政運営指針)の策定 ・公共施設包括管理業務の導入 ・第2期草津市行政経営改革プランの策定(見込み) ・第2期草津市情報化推進計画の策定(見込み) ・電子申請システムの運用拡大などDX・ICT等利活用の推進	など

(2)まとめ

「(1)まちづくりの基本目標ごとの主な取組実績」に示すような取組の結果、市民意識調査における「総合的に住みやすいまちである」「これからも草津に住み続けたい」という項目で「そう思う」「ややそう思う」と回答いただいた市民の割合は、令和3年度から令和4年度にかけては微減しているものの、令和3年度から令和5年度はいずれの年度の結果も第5次草津市総合計画第3期基本計画期間中の数値を上回っており、8割を超える市民から草津市の“住みよさ”についての高い評価を得ることができています。

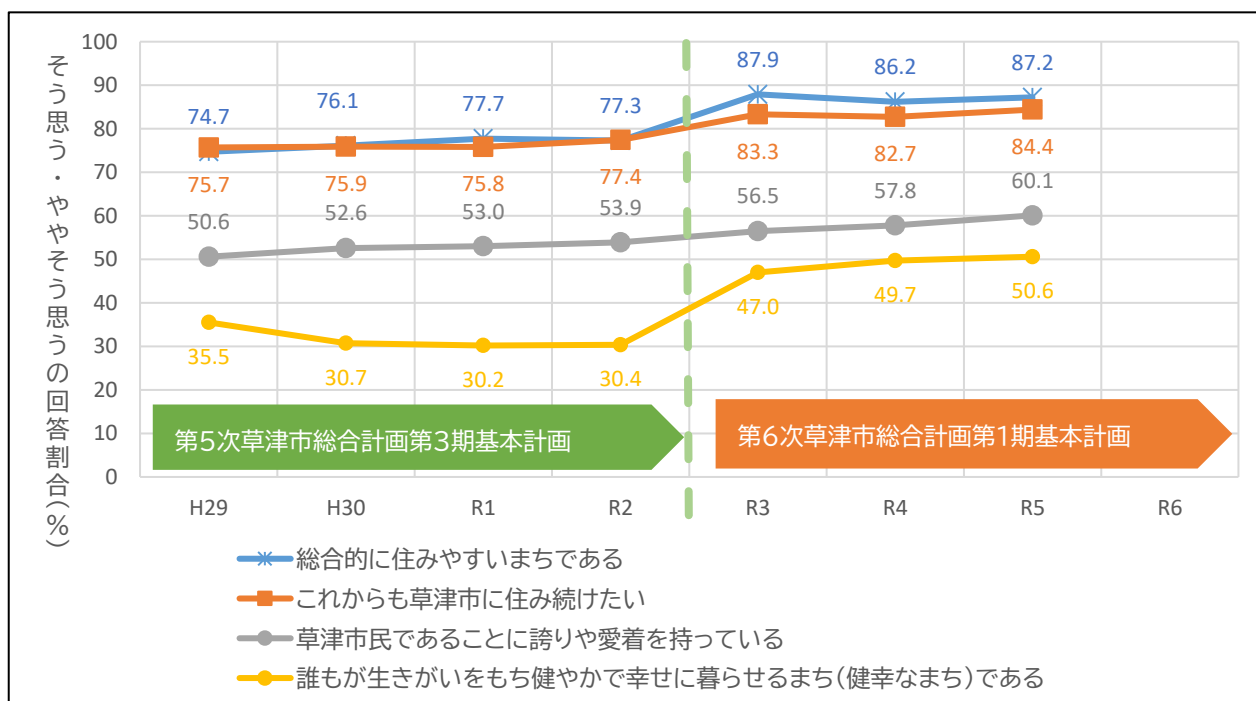
「草津市民であることに誇りや愛着を持っている」という項目で「そう思う」「ややそう思う」と回答いただいた市民の割合は「総合的に住みやすいまちである」「これからも草津に住み続

けたい」と比べると数値としては下がるものの、第5次総合計画第3期基本計画期間から継続して上昇傾向であり、「草津市民であることに誇りや愛着を持っている」市民の割合は順調に増加しています。

「誰もが生きがいをもち健やかで幸せに暮らせるまち(健幸なまち)である」という項目について「そう思う」「ややそう思う」という回答いただいた市民の割合は、第5次草津市総合計画第3期基本計画期間は30%台であったのに対し、「健幸創造都市」を将来ビジョンに掲げる第6次草津市総合計画第1期基本計画がスタートした令和3年度からは、40%を大きく超え、令和5年度には初めて50%に到達しました。

また、毎年、東洋経済新報社が公表する「住みよさランキング」でも、令和5年には近畿111市中1位、全国812市区中においても20位にランクインしており、全国的にも草津市の“住みよさ”は高い評価をいただいています。さらに、人口減少社会にあってもなお本市は人口が増加し続けており、令和6年には人口が14万人を突破する見込みとなっています。

これらのことから、「誰もが生きがいをもち、健やかに幸せに暮らせるまち」の実現に向けて、計画期間中の取組に一定の成果があったものと考えます。



住みよさランキング2023※で 近畿1位 (111 市中) / 全国20位(812市区中)

	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2023年 (R5)
近畿2府4県中	1位	1位	1位	1位	1位	3位	5位	3位	2位	3位	1位
滋賀県内	1位										

※住みよさランキングは、株式会社東洋経済新報社から毎年発表されており、「安心度」、「利便度」、「快適度」、「富裕度」の4つの視点から20指標について偏差値を算出し、すべての指標の偏差値を平均したものを総合評価としています。草津市は、10年以上近畿トップ5にランクインしています。